

有 珠 山

○ 火山活動評価：静穏な状況

火山活動に特段の変化はなく、静穏な状態です。

○ 概況

・ 噴煙活動（図 2）

西山西麓火口群 N-B 火口の噴煙活動は静穏な状態で推移しており、噴煙の高さはおおむね 100～200m で推移しました。金比羅山火口群ではごく弱い噴気が時々観測され、特に変化はありませんでした。

・ 地震活動（図 2、図 3、表 1）

火山性地震は 1 日あたり 0～5 回と少ない状態で推移し、地震活動は低調な状態で経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動（図 4）

GPS 連続観測では、火山活動の高まりを示すような変動は認められませんでした。

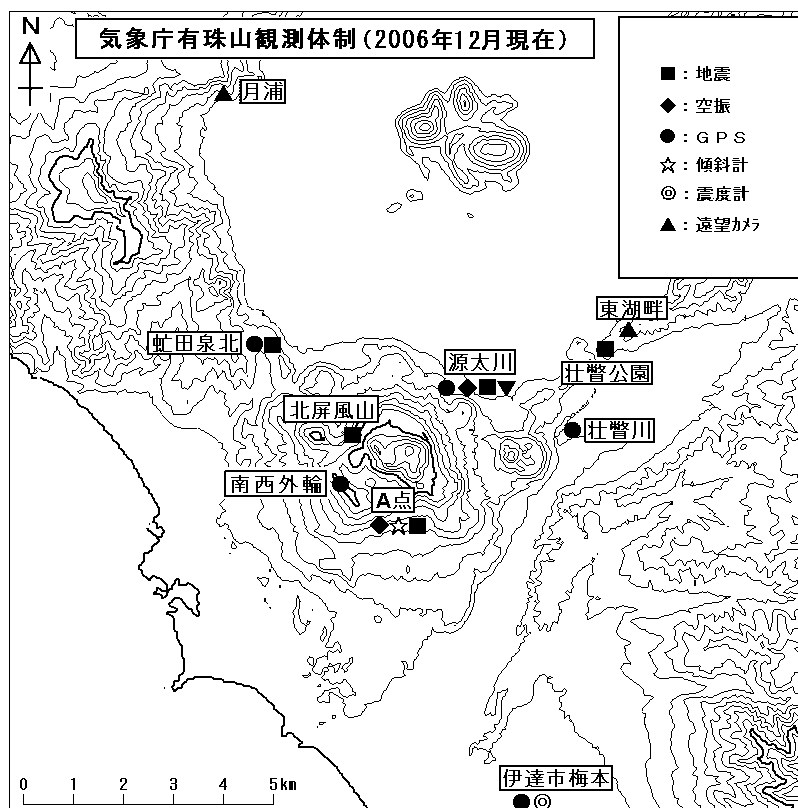


図 1 有珠山火山観測点配置図

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています。（承認番号 平 17 総使、第 503 号）

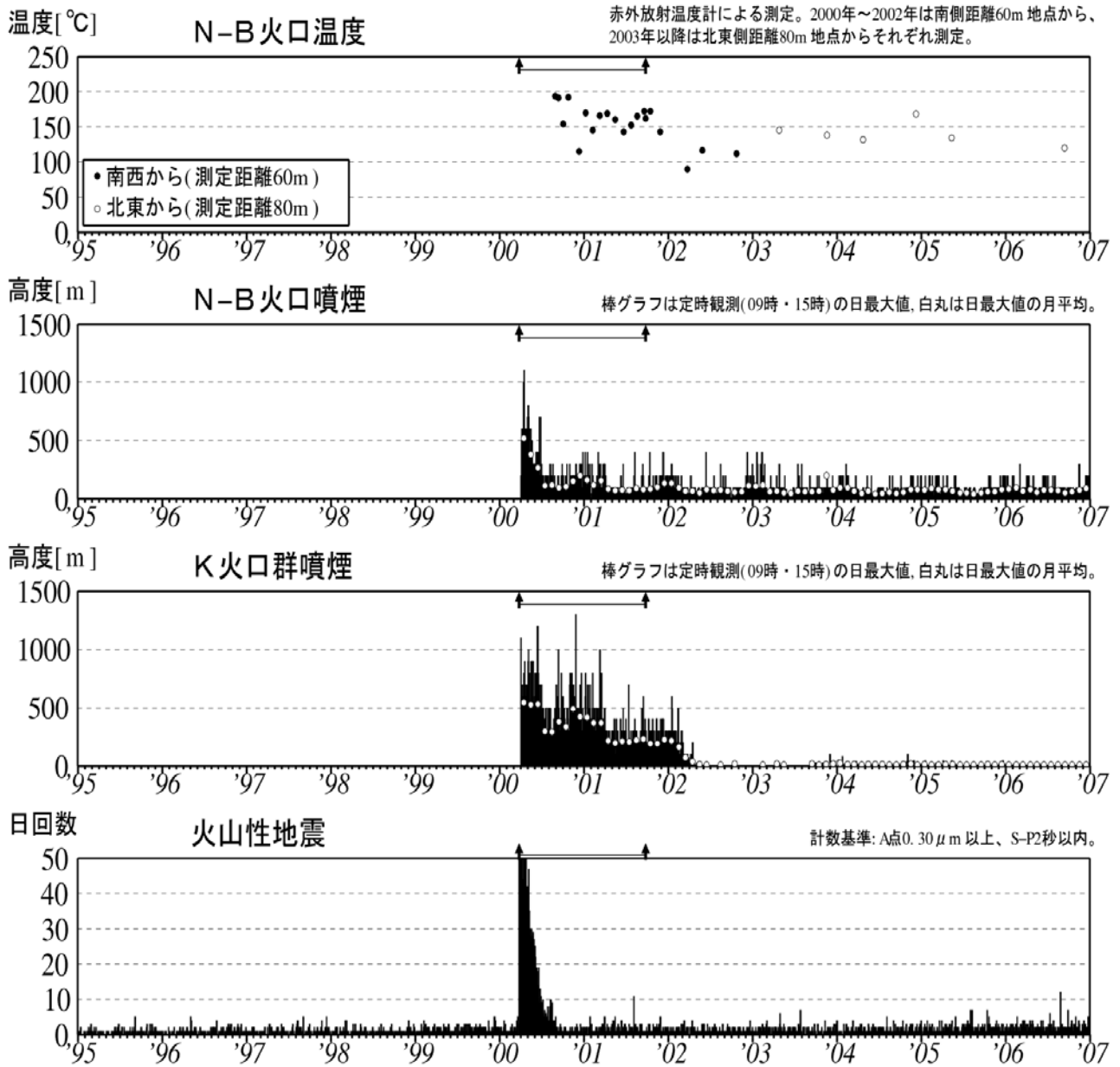


図2 有珠山 最近の火山活動経過図 (1995年1月～2006年12月)

↑印で挟まれた期間は2000年噴火活動期

・2000年9月以降、地震活動は1日あたり概ね5回以下で推移しています。

表 1 有珠山 地震・微動の月回数（A点：図3のUSUA）

2006 年	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
地震回数	26	34	40	35	29	32	35	34	40	34	33	37
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

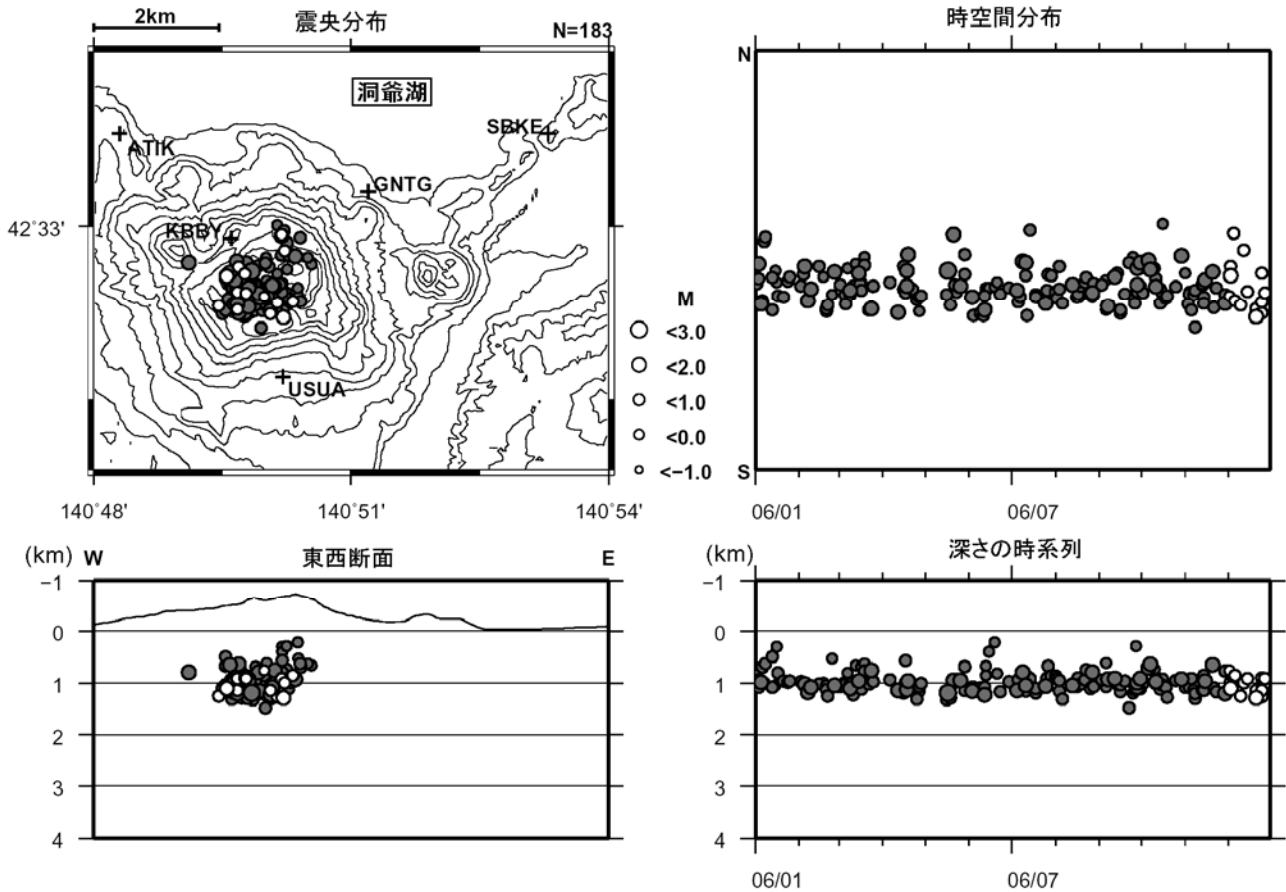


図 3 有珠山の震源分布図（2006 年 1 月～2006 年 12 月、+は地震観測点）

○印は今期間（2006 年 12 月）の震源

●印は前期間までの 11 ヶ月間（2006 年 1 月～2006 年 11 月）の震源

・前期間までの震源は山頂部直下の浅い所（山頂から深さ 1.5km 付近）に集中しています。
今期間に求まった震源もこの領域内に分布しています。

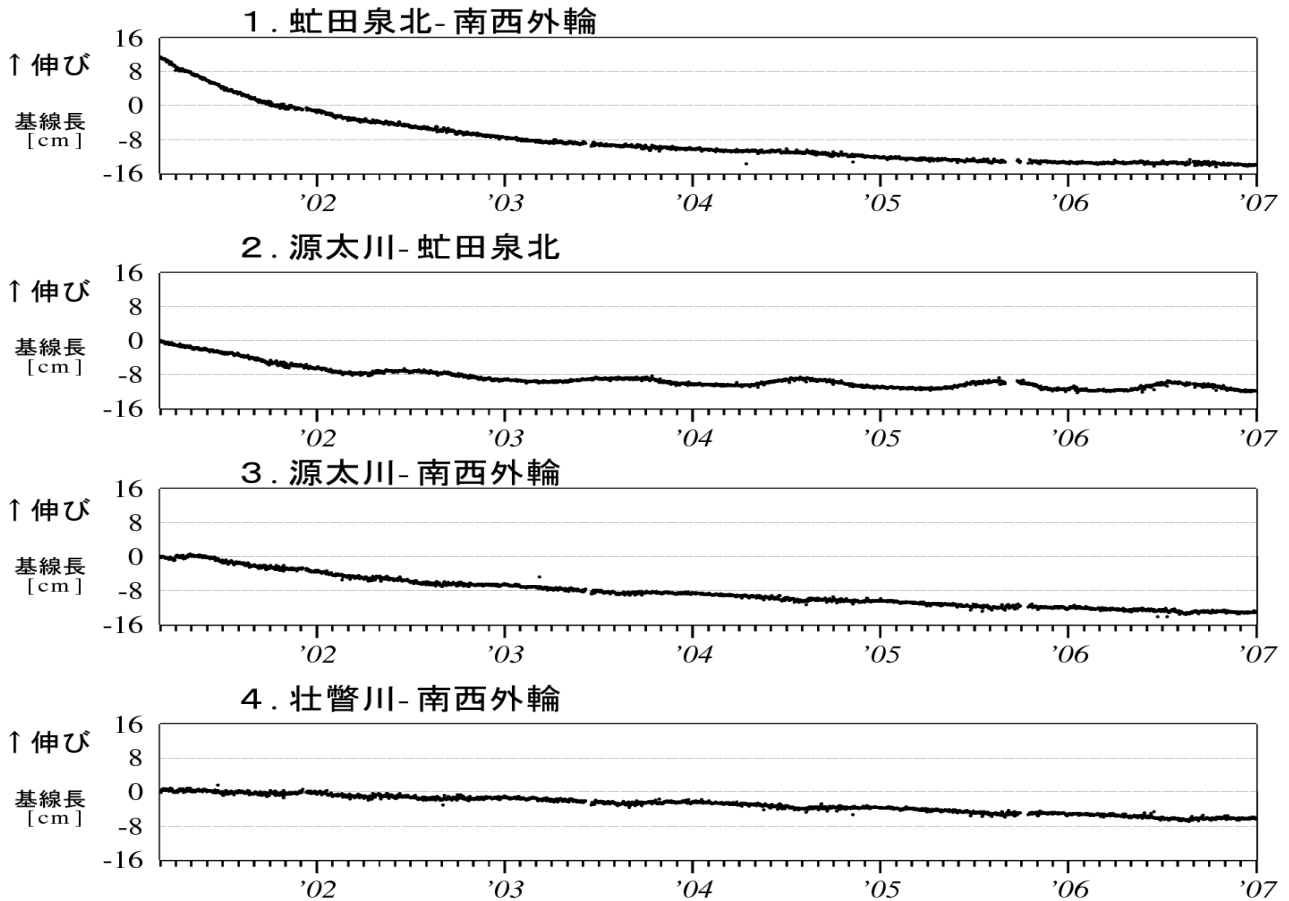


図 4 有珠山 GPS 連続観測による基線長変化 (2001 年 3 月～2006 年 12 月)

グラフの空白部分は欠測

図 4 の 1～4 は、図 5 の GPS 基線①～④に対応しています。

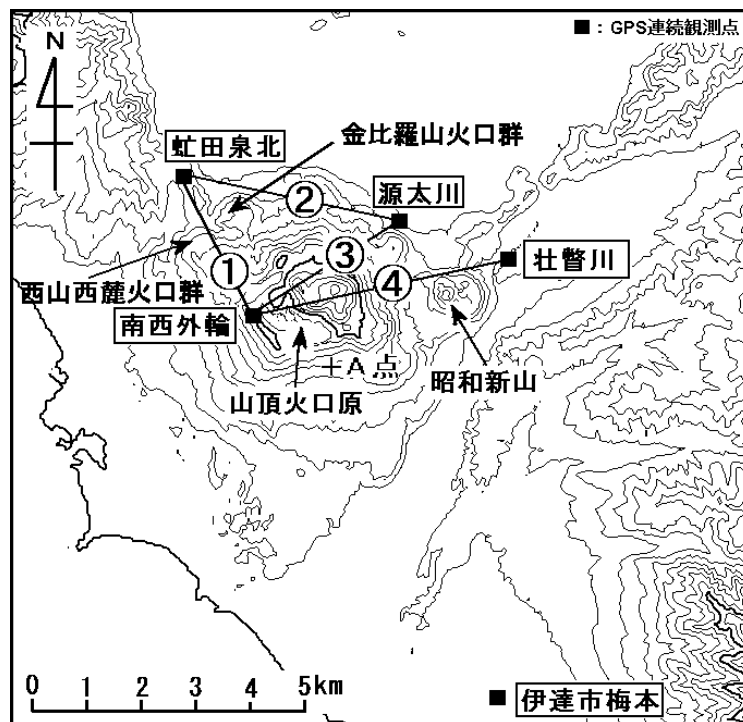


図 5 有珠山 GPS 連続観測点配置図